

2026 年度 橋梁点検士・橋梁診断士 登録更新の手引き（再登録・未登録含む）

名古屋大学 橋梁長寿命化推進室

橋梁点検士および橋梁診断士の登録有効期間は 4 年間で、登録を更新するためには最終年度に更新講習を修了する必要があります。登録更新の手続きを行わない場合、資格の登録は無効となります。

また、「登録有効期限切れで再登録を希望する方」および「合格翌年度から 3 年度以上を経過して新規登録を希望する方」も更新講習の修了が必要です。

登録の更新・再登録等を希望される方は、以下の案内にしたがい手続きをしてください。

「資格の登録更新」に関する変更について(2025 年度より実施)

(1)登録更新講習料の改定
登録更新講習の料金を改定しております。適正な運営体制維持のためにご理解賜りますようお願い申し上げます。

(2)登録更新時に必要な手続きを 1 回にまとめます
料金（更新講習料と登録料）の支払いおよび書類提出を 1 回にまとめます。（2024 年度までの更新講習修了後に登録料支払・書類提出となっていた手順から変更）

(3)橋梁点検士および橋梁診断士の更新講習を同時期に実施します
橋梁点検士・橋梁診断士の更新講習受講期間を統一し、約 1 か月間としました。両資格の更新を同一年度に行う方は、それぞれ申込を行い、受講期間内に両方の更新講習を修了してください。

主な日程	WEB 申込 受付期間	6 月 30 日(火) ~ 7 月 17 日(金)
	申請書類の提出期限	8 月 26 日(水)必着
	更新講習(e-ラーニング・小論文)	10 月 14 日(水) ~ 11 月 16 日(月)

1. 橋梁点検士・橋梁診断士とは

橋梁点検士とは

国立大学法人東海国立大学機構 名古屋大学 橋梁長寿命化推進室（以下「推進室」という。）が実施する橋梁保全技術研修の検査点検コースを修了し、推進室が実施する「橋梁点検士判定試験」に合格した方が、推進室の橋梁点検士登録名簿に登録申請し、登録された方に国立大学法人東海国立大学機構が付与する称号です。

橋梁点検士は、国土交通省の「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録簿（平成 26 年国土交通省告示第 1107 号）」に、平成 28 年 2 月 24 日に登録されています。（令和 8 年 2 月 27 日更新登録）

橋梁診断士とは

推進室が実施する橋梁保全技術研修の診断評価コースを修了し、推進室が実施する「橋梁診断士判定試験」に合格した方が、推進室の橋梁診断士登録名簿に登録申請し、登録された方に国立大学法人東海国立大学機構が付与する称号です。

橋梁診断士は、国土交通省の「公共工事に関する調査及び設計等の品質確保に資する技術者資格登録簿（平成 26 年国土交通省告示第 1107 号）」に、平成 29 年 2 月 24 日に登録されています。（令和 4 年 2 月 22 日更新登録）

橋梁点検士・橋梁診断士の登録の概要

登録有効期間：合格または更新講習修了の翌年度 4 月 1 日より 4 年間
（最終年度に登録を更新する必要があります。）

登録申請の受付：毎年度 1 回

2. 登録更新の目的

登録更新講習によって、橋梁維持管理業務に関する最新の知見を習得し、橋梁の点検・診断実務に必要な知識・技術の維持向上を図ることを目的としています。

3. 登録更新要件

以下に該当し更新講習を修了した方は、資格を更新、再登録または新規登録をすることができます。

区分	対象者	登録証有効期限
登録更新	登録有効最終年度の方	2027年3月31日
再登録	登録有効期限切れの方	2026年3月31日以前
新規登録	合格翌年度から3年度を経過しており新規登録を希望する方	未登録（以下期間の判定試験合格者） 橋梁点検士：2013年度～2022年度 橋梁診断士：2016年度～2022年度

4. 資格の登録について

資格を更新、再登録または新規登録した方に、「登録証」および「登録証カード」を発行します。いずれも資格の登録を証明するものです。送付は3月下旬を予定しています。

登録証の有効期間は、更新講習修了の翌年度4月1日から4年間です。登録を更新する場合、または有効期間終了後に再登録をする場合には、「登録更新講習」の修了が必要となります。

<注意事項>

- ・ 審査により登録ができない場合は、理由を通知します。
- ・ 提出書類の不備や提出期限を過ぎた申請書については、いかなる場合においても審査・登録は行いません。申請書は返却します。

5. 登録更新料

17,000円（税込）（更新講習料：12,000円、登録料：5,000円）

※納付済みの登録更新料は返還しません。

6. 登録更新の手続き

WEB 申込（資料請求）をされた方へ、登録更新書類を郵送します。申請書類をレターパックライト（青色の専用封筒）にて提出してください。

更新講習（e-ラーニング受講および小論文提出）を修了すると、登録を更新することができます。3月下旬に新しい登録証と登録証カードを送付します。

申請者		事務局
WEB 申込(資料請求):6/30(火)~7/17(金) ※本資料の6ページ「8.申込方法」参照	→	
	←	申込受付順に登録更新書類を郵送 (8月5日(水)を過ぎても届かない場合は、当室までお問い合わせください)
登録更新料の支払・書類提出 (レターパックライトにて郵送) 【提出期日】2026年8月26日(水)必着	→	
	←	10月上旬 テキスト・講習の手引きを郵送
<更新講習> e-ラーニング受講および小論文提出 2026年10月14日(水)~11月16日(月)	→	
	←	12月下旬 CPD 受講証明書を郵送
登録証・登録証カードの受領 2027年4月1日から4年間有効	←	3月下旬 登録証・登録証カードを郵送

7. 更新講習の概要

下表の期間内に e-ラーニング受講および小論文提出を行ってください。

課題	期 間 （※都合により変更する場合があります）
①e-ラーニング受講 ②小論文提出	2026年10月14日（水）～11月16日（月）

(1) テキスト等の送付

受講料の払込および書類提出を確認後、「テキスト」「受講の手引き」「小論文作成要領」を郵送します。（10月上旬）

(2) e-ラーニングの受講 （※プログラム、時間は変更することがあります。）

橋梁点検士と橋梁診断士の講習プログラムは、以下の通りです。

なお、「橋梁の維持管理における新技術の活用」は両資格で同じ内容です。今年度、両資格の更新を同時に行う方も、カリキュラムの都合上それぞれ視聴をお願いします。

資格	プログラム	時間
橋梁点検士	日本の橋梁の現状	約 45 分
	基準の変遷	約 60 分
	変状の概説（鋼）	約 50 分
	変状の概説（コンクリート）	約 90 分
	橋梁の維持管理における新技術の活用	約 30 分
橋梁診断士	診断の重要性と技術者倫理	約 70 分
	劣化予測～評価～判定（RC 橋・PC 橋）	約 90 分
	劣化予測～評価～判定（鋼橋）	約 90 分
	橋梁の維持管理における新技術の活用	約 30 分

(3) 小論文の作成・提出

e-ラーニングの受講後に作成し、オンラインにて提出してください。課題は当室から送付する小論文要領にてご案内します。

(4) CPD 受講証明書の送付

本講習は土木学会認定 CPD プログラムです。（土木学会で証明する単位が、各団体のルールにより認められないことがあります。）

審査の後、12月下旬に CPD 受講証明書を郵送します。

8. 申込方法

(1) WEB 申込

下記の受付期間中に **WEB サイトから申込をしてください**。申込後に自動返信される「申込完了メール」は、書類が届くまで保管してください。

今年度、橋梁点検士・橋梁診断士の両資格の更新を同時に行う方は、それぞれの申込みフォームから申込を行ってください。

■登録更新 WEB 申込ページ

橋梁長寿命化推進室 HP ▶ 資格の登録・更新 ▶ 登録の更新

<https://n2u-bridge.jp/qualifications/update/>



【WEB 申込受付期間:

6 月 30 日(火)9:30 ~ 7 月 17 日(金)17:00】

(2) 登録更新料払込および書類提出（郵送）

- ① WEB 申込締切後、「登録更新申請書類」と「納入依頼書（請求書）」を郵送します。
- ② 登録更新料をお支払いください。
- ③ 登録更新申請書類一式を郵送（レターパックライト）にて提出してください。（提出期日：8 月 26 日（水）必着）

<問合せ先>

国立大学法人東海国立大学機構

名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻 橋梁長寿命化推進室

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

電話:052-789-3726

E-mail: info.n2u-bridge@civil.nagoya-u.ac.jp

橋梁長寿命化推進室 WEB サイト: <https://n2u-bridge.jp/>